

# 創造都市 魅力引き出す 山形 高校生ら活動事例発表



イベント開催、パネル討論も

山形市内の若者たちが取り組んでいる創造的でユニークな活動事例を通して、国連教育科学文化機関（ユネスコ）創造都市ネットワーク・映画分野に加盟された同市の魅力を再発見する

イベントが14日、同市の山形まなび館で開かれた。大學生や高校生が山形を元気にするために展開しているアイデアを発表した。

市中心部を「オト」の芸術で盛り上げる東北芸術工

市内の大学生や高校生が地域活性化につながる活動事例を発表した  
＝山形市・山形まなび館

科大主催の「オトナルヤマガタ」で2017年に会場運営チームリーダーを担当した企画構想学科3年武長紀生さん(20)、昨年の全国高校生徒商業研究発表大会で2年連続となる最優秀賞を獲得した山形商業高の産調ガールズ、映像を通して世界の都市を学び連携するプロジェクトなどに取り組んだ山形東高2年長沢ハテイ明希さん(17)が活動内容などを発表した。

引き続き、パネルディスカッションが行われ、これまでの取り組みを通じ、武長さんは「イベントが自信につながった。経験を生かして今後の進路を考えたい」、山産産調ガールズの2年岡崎美優さん(17)は「今年は行動経済学をテーマに調査を進めている。地域とのつながりを意識し、山形の活性化に結び付けたい」、長沢さんは「活動していて楽しいことが自分の原動力。山形をどこまで発信したい」と述

べた。  
イベントは市創造都市推進協議会主催の「クリエイティブ カラエ」の一事業として行われた。

(柳沢明子)